



三日月 祭りの人

今年度公民館を振り返って

公民館の今年度を振り返ってみたく思います。

今年度は、継続的に行っている、いきいき元氣大学、フラダンス講座、健康アツプ歌唱講座、かんたん体操などの講座に加え、開館20周年を記念して様々な事業を行いました。

世代間交流キャンプでは、5家族23人の方が参加され、交流を深めました。天候にも恵まれ、天体観測では木星や土星などを大型の天体望遠鏡で観測することができ、参加者は初めて見る土星の輪に感動していました。

居酒屋公民館では、毎回参加者の発案により様々な企画が催されました。中でも、公民館前を利用して行われたバーベキューは好評で、小学生や日頃公民館に訪れない人の参加もあり、楽しいひと時を過ごすことができました。



居酒屋公民館 玄関前を封鎖してバーベキュー



交流キャンプではペットボトルロケットを作って飛ばしました!

道行く人の目は、少し気になりましたが、また、キノコ採りや趣味としている方の指導で、キノコ狩りをして、採れたキノコを汁にして参加者で食べたり、おでん鍋、餃子、とうじ蕎麦など、大勢の方に得意料理を披露

していた。だし、おいしい料理を肴に地区談議に花を咲かせました。いろいろな企画があった。新しい参加者も増える傾向にあります。

昨年、コロナ禍で行うことが出来なかつたふれあい祭りや規模を縮小して行った餅つき大会など、復活させた事業もありました。

ふれあい祭りは多くの皆さんが集まり、焼きそばや豚汁に舌鼓を打ち、フレイル検診を受けてそばを食べて、笑顔いっぱいこの事業となりました。餅つき大会は、コロナ禍で、会食こそできませんでしたが、90人を超える方が参加され、日本の伝統行事である餅つきを楽しんでいました。

雪中ウオーキング&キャベツ収穫体験

大手公民館前に集めた参加者7人は1月30日、小谷村北小谷来馬地区の、雪中キャベツ畑に向かいました。車窓から見える畑の残雪は大町に近づくにつれ徐々に増え雪が降り始め、道の駅おたりに着く頃は大雪になり一面銀世界でした。小谷旅企画部長の小島優治さん(65)と合流し畑に案内されました。



雪の中から発見!

雪の中で凍らないように糖分量を増やし成長して身が引き締まり、芯程甘く成るという。冬の収穫期に合わせて大切に育てられ、頑張つて地域の発展に役立ったキャベツと一緒に全員無事に帰路に着きました。(M・M)

ベツを大手公民館に配達してくれた井上聡也さん(40)らが笑顔で立っていました。「目印の竹竿に沿って傷つけないように」と言われ、宝探しのようにスコップで重い雪を掘り「あつた!」「大きい!」と歓声。大雪の中で童心に帰つたようなひとときでした。集会所に戻ると、串切りにした新鮮キャベツが大皿に盛りだくさん。甘く柔らかいシャキシャキしたキャベツを最後までいただきました。

中央地区の樹木 14

木瓜(ボケ)

- 分 類 バラ科ボケ属の落葉性低木
- 原産地 中国
- 開花時期 3月~4月
- 花 色 赤、白、桃など
- 用 途 添景木、生け垣、盆栽

平安時代にはすでに渡来し植えられて来たといわれています。いろいろな色や形の花は、早春に咲く花の中でも華やかで現在でも親しまれています。また、秋に熟した果実は芳香もよく、漢方薬として咳止めの効果があるといわれ、果実酒などにして古くから利用されて来ました。松本城公園にも所々に数多くのボケが植えられており、赤、白、桃色などの花が目を楽しませてくれます。尚、枝にはトゲがありますので、注意をしてください。



木瓜(ボケ)

長元坊 チョウゲンボウ

早朝のラジオ体操に参加してから8年位になります。体操の会場は数年前まで松本神社の境内と松本城公園の広場とで、半年交代でやっています。現在はお城の広場だけでやるようになりました。雨降りや雪の積もっているときは太鼓門の軒先をお借りしてやっています。

早春のよく晴れた日の朝は、ようやく白みかけた東の空に山々のシルエツトがくつきりと浮かび上がり、夜明けが近

いことを教えてくれます。広場から見える西山は、真っ白な常念岳と穂先をのぞかせた槍ヶ岳、隣の横通岳から大天井岳、燕岳へと連なっており、体操のメンバーもカメラを持った観光客たちも、太陽が昇る寸前に輝く北アルプスの、モルゲンロートの絶景に感嘆の声を上げます。

体操が始まる前から、数羽の雀が寄って来て餌を催促します。昔は人に近づいてくる雀などいませんでしたが、豆粒大に千切ったパンを足元に投げると、雀の他に鴨や、

な街なので、戦前・戦後を通じて個人の企業努力が歴史を作ってきました。昭和50年には、江戸時代に松本城の辰巳門と城主の辰巳御殿があつた場所に、植樹帯と石碑を置き、小庭園が出来上がりました。緑町ロータリーの名で長い間親しまれてきました。辰巳の名は、松本城から見て南東の方向にあるからです。平成7年には深井戸を掘り水路にして流しました。木彫りのベンチを配置し植樹帯も増やして公園にしました。辰巳の御庭の誕生です。春にはコヒガンザクラが咲き街中で一番早い桜の名所で、多くの人がシャッター



ひとつが緑町で、上土町と小柳町の間に位置します。

西に隣接する小柳町にたくさんあつた柳の「緑」に因んで、その名がついたといわれています。

明治22年に演伎座ができ、土通りの映画館とあわせ、映画を見たり買い物をした後で、飲食する場所として賑わっていました。飲食店が多いという特別

時には鶺鴒まで加わって餌の奪い合いが始まります。お堀に浮かぶ白鳥や鴨の群れに微かな春の息吹を感じても、未明の肌を刺す寒気には思わず体が縮まってしまう。ラジオ体操には高齢者や病気を抱えた人も参加してはいますが、早朝の寒い中、決して無理をしないように願っています。

(T・K)



ふれあい会食会・地域ケア会議

2月22日(水)、ふれあい会食会と地域ケア会議が開催されました。ふれあい会食会では、「おおて坂36」さんがその日のTシャツを着て登場。参加者の皆さんと、朝の体操を行って体をほぐした後、中條主事のギター演奏で365歩のマーチを合唱しました。

その後エルダーシステムを使った脳トレを行い昼食と、和気あいあいと楽しんでいただきました。今年度3回目の会食会でしたが、毎回約60名の方が参加、余興と会話を楽しみながらお弁当を食べていただいています。

地域包括ケア会議は毎年行われていますが、今回は寸劇の形で楽しくわかりやすく伝えるよう企画し、こちらも約60名の方にご参加いただきました。他にもこんなことを知りたいという声もあり、次回の中央地区劇団の活躍が待たれます。

お昼休みを挟み、午後は中央地区劇団(公民館・福祉ひろば職員のほか地区の担当職員、介護施設の職員等で構成)が、介護関係のサービスマン、介護関係のサービスマン、地区内の居場所などを紹介する寸劇を行いました。中央地区で暮らす、松本アキラさん、チホさんご夫婦が、アキラさんの骨折によって日常生活に支障をきたしてしまいましたが、ケアマネージャーさん、デイサービスなどの利用をおし、住み慣れた地区で幸せに暮らし続けることができる、とい

最後にご協力いただいた役員の皆様、施設の皆様、ありがとうございました。中央地区 地域づくりセンター長 藤森 千穂

今後、個々の店ができるサービスマンを街全体の統一の中で表示したり、各店のテイクアウト商品を辰巳の御庭で楽しく食事できるように公園作りをすることが必要だと思われま

町会長 北原 嗣正



地域ケア会議の様子



地域ケア会議の様子